

平成22年度森と湖に親しむ旬間行事

# 横川ダム見学会

森と湖に親しむ旬間行事とは？

ダムおよび森林は、生命の根幹に関わる水を安定的に供給し、また、国土の保全や災害の未然防止という基本的な機能によって、国民生活の向上や産業の発展に大きな役割を果たしています。

一方、特に近年、国民生活におけるゆとりや生き甲斐の重要性が指摘されており、その実現に資するための活用資源の一つとしてダム湖を中心としたオープンスペースおよび森林が有する緑の空間が、国民共有の貴重なレクリエーションゾーンとして注目されています。

このような状況を背景に昭和62年に「森と湖に親しむ旬間」（7月21日～31日）が、国土交通省及び林野庁により、ダムや森林等の水資源の重要性について、その関心を高め、理解を深めることを目的として、制定されました。

横川ダムは、死者・行方不明者90名、全壊・流出家屋1000戸以上の壊滅的な被害をもたらした昭和42年羽越水害のような悲惨な水害が繰り返されないよう、平成2年に建設に着手し平成20年に完成した多目的ダムです。

「横川ダム見学会」は、平成22年度森と湖に親しむ旬間行事として、事前にお申し込みいただければ、普段見ることのできないダム内部や周辺施設の御案内をします。



地域とダムの情報空間  
きてくろ館



ダム内部

【申し込み・問い合わせ】  
山形県西置賜郡小国町大字綱木箱口736  
国土交通省羽越河川国道事務所横川ダム管理支所  
0238(65)2363